



被災者の受け入れ

4月1日・教員住宅に、宮城県から5人、福島県から7人を受け入れました。(4月11日現在4世帯13人を受け入れ)



被災者支援に向けて

3月22日・救援物資以外の支援に向けて「安曇野市東日本大震災物資等支援対策会議」を開催



物資等支援団体と連携

3月17日・市内の支援実施各団体と連携を図るため、関係者連絡会議を開催。同日、市内12カ所に救援物資受付窓口を開設しました。



市職員の派遣

4月5日・宮城県多賀城市へ上水道課職員4人を派遣。4月8日保健師1人を岩手県陸前高田市へ派遣。



被災者総合窓口の設置

3月25日・「被災者受入窓口」を危機管理室に設置。市営住宅等10戸確保。一般からの提供可能な住宅等の情報受付を開始しました。



災害救援物資の輸送（第2次）

3月18日・岩手県遠野市への第2便となる災害支援物資を輸送しました。



災害救援物資の輸送（第1次）

3月14日・武蔵野市の友好都市である岩手県遠野市へペットボトル入りの水や灯油、粉ミルクなどを輸送し、翌15日に現地へ届けました。



義援金箱の設置

3月14日・市役所各庁舎に義援箱を設置しました。また、防災行政無線でご協力を呼びかけました。



被災状況報告会

3月16日・岩手県遠野市への輸送を担当した職員から現地の被害状況について、市長ほか関係職員が報告を受けました。



ホームページに対応情報を掲載

3月14日・今回の震災に対する安曇野市の対応について、市ホームページに情報の掲載を開始しました。

被災地の復興を願って

この度の震災でお亡くなりになられた皆さまに哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

この度の震災による被災地支援に対する安曇野市の主な取り組みについてご報告します。

（※最新の情報は市ホームページをご覧ください。）

東

日本大震災では、地震と津波による甚大な被害に福島での原発事故も重なり、支援活動については長期化が予想されます。市では震災発生後から庁内に支援対策本部を設置し、被災地への救援物資・義援金などへの対応をまいりました。

金・ボランティア等の支援へご協力をお願いします。また、市では被災地へ職員の応援派遣や、当市に避難されている、被災者の皆さんに対する支援活動に、全力で取り組んでいます。

人ごとではない

- 救援物資・義援金**
- ・友好都市の岩手県遠野市へ2回の救援物資の輸送
- ・市民の皆さまからの救援物資について受付窓口を設置、県を通じて被災地へ輸送
- ・市役所庁舎内へ義援金箱の設置

○被災者支援

- ・継続的な支援に向け「安曇野市東北地方太平洋沖地震（東日本）大震災物資等支援対策会議」を開催
- ・被災者への総合支援窓口を設置
- ・市営住宅への被災者受け入れ
- 市職員の被災地派遣**
- ・水道・福祉関係職員の派遣

今後、被災地復興に向け、市民の皆さまには、引き続き義援

今回の震災では、地震発生後の余震のほか、その後各地で強い揺れを観測しました。私たちの住む地域には「糸魚川―静岡構造線断層帯」があり、国の地震調査研究推進本部によると、マグニチュード8程度の地震発生確率は30年以内に14%と公表されています。これは陸地の主な活断層の中でも最も高いものです。

人ごとではなく、私たちにも起こりうることを認識し、地震に対する正しい知識と日ごろからの備えをしておく必要があります。

自主防災組織

一人ひとりが災害に備えて普段から準備しておくことが大切

ですが、個人の力には限界があります。個人の防災意識の向上と合わせ、隣近所の支え合いが必要です。

安曇野市の自主防災組織の組織率は98・8%（平成23年4月11日現在）となっています。各自主防災組織が実施する訓練に積極的に参加し、地域の皆さんが協力し合い、自主的に防災活動を行うことで、被害の防止または軽減が図れます。

JALERT

（ジェイ・アラート）

市では平成23年6月1日から全国瞬時警報システム（ジェイ・アラート）による緊急放送を開始します。

このシステムは、緊急地震速報や武力攻撃などの国民保護事象が発生した場合、通信衛星を介して国（消防庁）から市に直接情報が送られ、防災行政無線により、市民の皆さまに瞬時に情報を伝達することができシステムです。

これらの情報が放送された場合はテレビ・ラジオをつけて情報に注意し、避難先などを確認し落ち着いて行動してください。伝達内容など詳しくは、あらためてお知らせします。

☎堀金総合支所内危機管理室（TEL72・6769 FAX72・6739）

東日本大震災
長野県北部地震

災害義援金

24,055,842 円

平成23年3月31日現在

皆さまのご協力によりお寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じ被災地の支援に役立てます。

引き続き、皆さまからのご支援をお願いします。